

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 一榮	代表者	青野 正二	法人・事業所の特徴	ホッと安心できる家庭的な雰囲気のなかで、お一人お一人にあったケアを大切にしています。1階部分に小規模多機能の介護事業所があり、2階・3階部分にはサービス付き高齢者住宅の住まいがあります。24時間365日、ご利用者さまに合わせた安心できる介護を定額料金でご利用いただけます。事前にご連絡頂ければ施設の見学もお受けできますので、ぜひ一度お越しください。				
事業所名	小規模多機能 いちえい日招きの里	管理者	廣瀬 三恵						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	8人	0人	0人	2人	2人	3人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価で理解出来ていない項目について、ミーティングを活用して職員全体で意見交換をして理解を深めていく。	理解できていない項目で特に意見の多かった「成年後見制度」について、施設のケアマネからの内部研修を行いました。苦手意識があったのですが、ケアマネさんの説明を聞いて、イメージすることが出来ました。パンフレットを読み返し理解を深めました。	9つのテーマについて全員で取り組まれた姿勢が感じられます。出来ている点・出来ていない点を把握して、これから課題を見つけて取り組んでいると思います。目標に向かって頑張ってください。利用者への温かい姿勢を見聞しています。頑張ってください。	自己評価で出来ていない項目や理解できていない項目に取り組んだことについて意見交換をし、ミーティングを活用して理解を深めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節行事など近隣の方に事業所イベントに来ていただき、交流の機会を増やす。ご利用者様に近隣の方と過ごす時間を楽しんで頂き、居心地の良い環境づくりを行う。	地域のボランティアの方など、事業所に来ていただく機会が少しづつ増えてきました。利用者様にとって楽しい時間がもっと増えるように交流の機会を増やしたいです。	身近なところで生活していくことで良い事があると感じています。家庭的な雰囲気で、落ち着いて生活出来ている。	ご利用者が居心地の良い空間となるよう、表情や声のトーンなどに気を配り、楽しい雰囲気づくりを意識する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方からも相談してもらえる事業所であり続けるように、地域行事への参加の機会を増やし地域の方の顔なじみになれるように努める。	ご近所の方から相談を頂く事が増えました。地域のお祭りに家族様と一緒に参加することが出来たり、近所ならではの関わりが持てました。	情報交換が出来ていて良いと思います。近年、公民館活動も減っていますので、徐々に増えていったらいいと思います。	ご利用者と近所へ散歩中の挨拶などを通して、地域に事業所の雰囲気や活動を発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方へ事業所に来ていただく機会を設け、事業所を身近に感じて頂く。また日頃からの挨拶を通して、地域の方から直接相談をしてもらえるような事業所づくりを目指す。	地域ボランティアの方や社会福祉協議会傾聴ボランティアの方との交流の機会が増えてきました。利用者さんの話を楽しく聞いてくれていて、利用者さんも職員も大変楽しみにしています。	最近町内会でもお付き合いが減ってきて状況がわからない。班長さんに聞いて、サポートの必要な方の把握に努めている。	ご利用者の外出機会が増えるように、地域の方や家族様にも一緒にサポートしてもらえるような関係性づくりに努める。

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方から相談してもらえるような関係性であり続けるよう、地域行事参加の際に積極的に事業所の情報発信をしていく。	運営推進会議で地域の近況情報が交換出来ました。実際の利用に結びついたケースもありました。	運営推進会議へ利用者さんや利用者家族さんも参加出来たら良いですね。 運営推進会議のなかで地域の困りごとの事例相談に対し、地域包括支援センターより支援する為のアドバイスをいただきました。	運営推進会議の中で地域の情報交換をした内容を、職員へ申し送りやミーティングで伝えて、相互理解を深める。
F. 事業所の防災・災害対策	町内の方にも事業所開催の消防訓練に参加して頂けるよう、消防訓練の日程を地域の方へ早めにお知らせをする。地域の防災士の方にも参加して頂けるようご案内をする。	年2回の消防訓練を内部のみで実施しており、地域の方へのお知らせが出来ておらず、今後の課題です。	災害時の備蓄物品について、飲食物は特に、ローリング！日常で消費しながら新しいものに入れ替えていく事が大切です。 包括支援センターさんより頂いた「避難生活健康管理ガイドブック」の中で、いろんなケースへの災害時の備えや対応について詳しくコンパクトに記載されており、職員に申し送りし備えました。	今年度は、自分で歩けない方の移動訓練を予定しているます。移動には人手が多く必要なので、地域の方にも消防訓練に参加して頂くようご案内する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～10月30日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画	本人様・家族様・職員とのより良い関係作りが出来るよう、ご家族様の来訪時にはご利用者様の最近の様子を現場職員からもお伝えするようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族様来訪時に最近の様子や体調についてお伝えしたり、気持ちの良い挨拶を通して、本人様・家族様・職員がより良い関係になれるよう日々努めています。もっと細かな情報を知りたいので、家族様と話をする機会をもっと持ちたいといった意見も多くありました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	6	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	7	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？	1	7	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	4	2	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用時の情報を元に職員間で話し合いをしている。	
家族様来訪時には必ず様子をお伝えしています。	
電子介護記録申し込みに提供されている情報を事前に確認してから日々の業務に入っている。	
日々状態の変化がある利用者様も多くあった時期にも介護者や職員同志の最新情報交換に努めました。	
ご利用者の不安感や心情に注意して関りを持つよう正在している。	
家族様の対応時、まず挨拶。気持ちよくはきはきとする事が出来ている。	

できない点	200字以内で、できないことと、その理由を記入すること
利用前の情報と利用時の訴えが違う時、対応に困ることがある。	
業務上余裕がなくご本人様の話や思いを聞けてない事があった。	
本人様とは関わる時間が持てるが、家族様と関わる機会が少なく、意見を聞けていない。	
利用者様の生活の様子・日頃の様子などをはっきり伝えることが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人・家族との交流のなかで得た利用者のニーズを電子申し込みを活用して職員間で共有して、より細やかな支援をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	3人	0人	9人

前回の改善計画	利用者の「～したい」を支援出来るように、本人の目標・ゴールを意識したコミュニケーションの時間を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の目標・ゴールを意識した会話を通して得た情報をスタッフで共有し、「～したい」の支援をしています。「こうしたら喜んでくれた。スムーズに対応出来た。」という情報を共有して、より良い関わり方に生かしています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	5	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	3	0	9
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	9	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	担当の利用者様と密に関わりを持ち一緒に頑張ろうとしている。
	利用者に安心してもらえるように、傾聴を心掛けている。
	利用者との関りを通じて、気付いたことや注意点を職員に申し送りしている。
	～したい等を日々の会話や行動の中で見つけるようにして、話し合いをする。
	利用者介護で、こうしたら良かったなどの情報があればスタッフと共有している。
	日頃から見ていると、何がしたいなどある程度身についている為、寄り添ったケアが出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	全員の理解は出来ていない。
	時間に余裕があるときはゆっくり取り組めているが、業務に追われて後回しになることが時々ある。
	「～したい」がわかりにくい利用者様への関りが充分に出来ていない。
	本人の「～したい」と実際の心身状態がかけ離れているとき、出来る限り寄り添いながら他の提案をする事がある。
	今、何がしたい、こうしたいという点をもっと把握したい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者の当面の目標・ゴールに寄り添ったケアを行うため、最新のサービス計画書の確認をして、今の「～したい」を意識したケアをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
3. 日常生活の支援	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	6人	0人	0人	9人

前回の改善計画	利用者の気持ちや体調の変化に気づいたときは、その都度情報をFT(ICT)申し送りして全職員が共有し、その時その時に最適な支援が出来るようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	体調や精神状態の変化をこまめに申し送りして、今の状態に合わせた介助方法の提案をして、対応出来ています。もっと細かな点にも気を配りたいが、日々の業務に追われてゆっくり対応出来ないことがあるのが課題です。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	5	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならぬい声をチームで言語化できますか？	3	4	2	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	4	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか？	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者に2つの提案をして、最終決定権はご利用者様に決めてもらっている。「ゆっくりでいいですよ。」「私が○○するから大丈夫。安心してください。」「一緒に○○しましょう。」と声を掛ける。今の状態に合わせた食事形態の変更や介助方法の提案をしている。利用者様の状況についてはその都度共有し合い支援に努めています。自分は夜勤が多いのですが、ほんのささいな事でも申し送りの際に報告して、情報共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
声にならない声が大切なことは分かるが言語化にはできていない。 「以前の暮らし方」10個以上の把握は出来ていない。 利用者の変化が激しく情報の共有が間に合わない事がある。 日々の業務に追われ、ゆっくり話が聞けない時がある。 もっと細かな点も気に掛けて、こうすればこうなるだろうと予測して対応する点が不足していると思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前の暮らしを本人や家族から聞いて把握し、得意な事・好きな事を話題にした会話をして、楽しい気分になってもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	1人	6人	1人	9人

前回の改善計画

いま必要な地域の資源を具体的に調べ、利用者が地域との関わりを感じてもらえるような支援につなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域の資源についての内部研修を通じて、身近な地域資源の活用が出来た。日招き神社や地域有志の方による花壇などで地域との関わりを感じてもらえた。もっと外出の機会を増やして地域との関係を深めたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	4	3	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	3	3	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	3	3	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	5	3	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

理解していかなければならぬことはわかる。

傾聴し、家族様にどう接したらいいか一緒に考えている。

利用者さんが地域との関わりが持てるよう支援できている。

地域の資源を調べ、近くの神社や花壇などで、地域との関わりを感じてもらえた。

出来るだけふれあいながら介護が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人が周りの方との関係についてはわからない。

施設内介護に従事している事から、地域での暮らしの支援は難しい。

日々の業務で手一杯で、時間的心理的にも余裕がなかった。

もっと度々外出したいが、回数が少ない。

地域資源が把握できていない。

その人と調和が取れていない事があり、ふれあえるようにしたい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

感染対策への協力をお願いしながら、可能な限り面会制限等の緩和をする。また、家族様と外出する機会を増やしてもらえるようサポートをする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画	ご利用者が日々の暮らしを楽しんでもらえるよう、各担当者が地域の資源を調べて一つ以上提案する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源についての内部研修で、近くの神社や地域ボランティアの方・出張理美容や移動スーパーなど、身近なものが地域資源であり、活用している事を認識できました。各担当者を中心に、利用者により良い暮らしを楽しんでもらえるような提案をしてサポートしていきたいです。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	5	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	6	1	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	5	1	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者様のささいな変化にも気づき対応出来ていると思う。 小さな変化に気付き、支援・共有は出来ていると思う。 地域の資源を調べて活用できた。 その日の介護記録を見て、今日はこういう状況だからこうしようという点は出来ている。
できない点	200字以内で、できないことと、その理由を記入すること
	介護職員からの気付きを看護側に否定され始めると介護側からの申し出が無くなり処遇が後手後手になるので、もっとコミュニケーションが必要だと思う。 地域の資源を充分には使えていない。 コロナの影響や家族の事情もあり、連泊となっている方がいる。 事業所以外での支援には関わっていない。 状況を充分に理解せず、実施する点がある。
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

地域の資源を調べて利用・参加して、利用者の生活がより豊かなものになるようにサポートしていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
6. 連携・協働	メンバー	職員8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	3人	3人	9人

前回の改善計画

会議や地域行事の予定を館内に掲示し、周知する。社会情勢に配慮しながら、利用者や職員が会議や行事に参加する機会を増やし、地域との関わりを深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

外出や面会の規制も徐々に緩和することが出来て、少しづつ地域行事にも参加できるようになってきました。利用者が地域との繋がりを感じてもらえるよう、もっと参加の機会を増やしていきたいです。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	2	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	2	5	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	0	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	0	6	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

カンファレンスには毎回参加出来ている。

地域行事や季節行事に参加できない方へ、参加出来なくても伝えるようにしています。

音楽療法などに参加し交流を深めてもらうようにしたい。

少しですが、町内会のイベントに参加出来ている。

送迎・出退勤・散歩などで地域の方へ挨拶をすることで関わりを持てている。

消防団に入っているため、訓練・地域の行事など出来るだけ参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域の行事には参加出来ていない。

自治体の会議に参加出来ていない。

会議や行事に参加する機会が多く持てていない。

自分が身に着けたことをもっと活用したい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者に地域との繋がりを感じてもらえるよう、外出の機会を増やすサポートをする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
7. 運営	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	2人	2人	9人

前回の改善計画	職員が地域連携の認識を高めていけるように、順番に会議や研修に参加出来るように勤務調整をする。また今後も継続してFT(ICT)の申し送りをして会議の内容を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	電子記録での申し送りは順調に活用出来ています。会議や研修には、もっと参加して会議や研修で学んだことを他の職員に伝えて一緒に向上していきたいと思っています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	2	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	3	3	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	2	3	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	2	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議の内容は確認している。	
FT(電子記録)を通して情報は確認しています。	
介護職員としての意見を共有して反映できていると思う。	
個人的な研修には参加している。	
研修に多く参加してスキルアップ出来ている。	
意見交換を行い、取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方との取り組みがほとんど出来ていない。	
日々の業務をこなすのが精いっぱい。	
研修で学んだことを、他の職員に充分伝えることが出来ていない。	
他の職員に、はっきりとした事が伝わっていない事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議の内容を電子申し送りして、事業所が地域と繋がっているという意識を高めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	2人	2人	9人

前回の改善計画	毎月の内部研修に加えて、年に1度以上は外部の会議や研修に参加する。そこで学んだ良い情報を申し送りし、事業所全体で共有して活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員それぞれが、技術や知識向上に必要な研修に参加して、スキルアップ出来ています。そこで学んだ事をそれぞれの職員に伝えていますが、事業所全体で共有するためのマニュアル作成は、課題として残っています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	2	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	1	2	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	3	5	9
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	4	3	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	自分に必要だと思う研修に参加している。 良かったことは共有している。 必要とされる研修には参加します。 研修に多く参加して、スキルアップ出来た。 どのような研修があるか内容を聞いたりしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域連絡会には参加出来ていない。 研修で学んだ情報の申し送りが充分共有できていない。 個々で参加した研修を事業所全体では活用出来ていない。 もっと自ら進んで参加しようと出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	会議や研修に参加して得た技術や知識を職員カンファレンス時に発表して事業所全体でスキルアップしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日～9月25日
9. 人権・プライバシー	メンバー	職員9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	4人	0人	0人	9人

前回の改善計画	職員間での申し送り時、利用者が不快に感じない様に声の大きさや表現に気を付ける。また、特に排泄介助・入浴介助時に、プライバシーに配慮した支援が出来ているか、常に意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	排泄や体調などの日々必要な申し送りをする際、声の大きさや表現に気を配り、利用者が不快に感じない様に配慮しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	8	1	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	0	4	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	3	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束・虐待等ニュースでよく取り上げているが、ここでは行われていない。
	排泄・入浴も基本1対1での介助のため、プライバシー保護は出来ている。
	プライバシーには気を付けている。
	声の大きさ等に気を付けている。
	利用者の不快に思われる行動はしないようにしている。
	虐待防止やプライバシーへの配慮は、重要な事だと考え守るべき事柄です。
	他の人と会話するとき、これはいけないという事は外部に発することはない。

できていない点	200字以内で、できっていないことと、その理由を記入すること
	成年後見制度についてよくわからない。
	成年後見制度は使用していない。
	スタッフが集まって話をする事があり、もしかしたら利用者は不快に思う方もいるかもしれません。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	声のトーンや伝え方を工夫して、利用者が安心して快適に生活できるようにサポートしていく。